

「室蘭を好きになってね」

海星グッズ 販売

乗船客に向け

室蘭・海星学院高校(香川謙二校長、210人)の生徒たちが21日、室蘭港中央ふ頭に入港した豪華客船「サン・プリンセス」の乗客向けにTシャツなど4種類の海星グッズを販売した。

同校の生徒らは毎年、豪華客船が入港すると通訳ボランティアを行っており、今年は「通訳だけでなく、乗客の思い出に残る土産物を作りたい」と校内で「チーム海星グッズ」を設立した。



オリジナルの海星グッズを販売する生徒たち

1、2年生の生徒たちが中心となってデザインなど考案。白鳥大橋や「室蘭」の文字がプリントされたTシャツ、イルカが気持ちよく海を泳いでいる様子をイメージしたコースター、ドートバッグ、箸など室蘭にちなんだグッズ4種類を制作。値段は千円から1600円。売上金の一部は、東日本大震災復興支援や開発途上国支援などの活動を行う団体に寄付する。

28日午前9時～午後4時、同場所の特設コーナーを設置してグッズの販売と通訳ボランティアを実施する。館岡光菜さん(2年)は「帰国しても室蘭のことを思い出してほしい」と思い、制作に取り組みました。28日も多くの乗客の方々とコミュニケーションを取りながら「海星グッズ」を買ってもらい、室蘭のことを好きになっていただけたらと思います」と話していた。

(石川綾子)